

番号	氏名	抱負
221	本郷 隆治	
222	本田 道隆	
223	本田 貢	代議員として、総会に出席し議題の審議・議決に参画し、学会全体の状況を会員に広めるとともに、会員の要望や意見などを収集し学会の運営に反映できるように貢献したいと思います。さらに、本学会の目的である「放射線技術学に関する研究発表、知識の交換ならびに関連団体との連絡提携を図り、学術の進歩発展に寄与する」に対し、これまでの経験を生かし、微力ではありますが協力させていただきます。
224	本間 龍夫	
225	前田 幸一	
226	前田 賢	東京部会に所属するとともに、JIRA学術専門委員会に属し秋季学術大会JIRA発表会の担当をしています。また、総会学術大会・秋季学術大会の際に配布いただいているJIRAテクニカルレポートの発行・編集業務を担うJIRA技術広報専門委員会にも属し、JSRTとJIRAとの連携活動の一助と成るべく意識的に活動して参りました。今後、より一層両組織の理解を深めて貢献して参りたく代議員に立候補いたしました。
227	真壁 武司	平成25・26年度代議員をやらせていただきましたが、今後の会の動向を見極めたく、また広い北海道の中で各会員に本会の情報を伝えるべく引き続き代議員としてがんばって行きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。
228	増渕 二郎	技術学会代議員に立候補致します自治医科大学の増渕です。1976年に就職し、30年以上放射線治療に携わってきました。医療は急激に変化しており、放射線治療分野をみても、世界の中での放射線治療をも考えなければならないような状況です。昨今専門医制度の見直しなども行われており、放射線の技術者集団としての立場も考えていかなければならないと思います。微力ではありますが、ご協力できればと考えております。
229	松浦 幸広	技術学会の更なる飛躍のために、臨床技術と学術のトランスレーショナルリサーチやグローバル化に微力ながら尽力させていただきたく所存でございます。
230	松田 和久	日常の業務は非常に忙しいですが、その中でも頑張っている技師もいます。若い技師にも、そのような技師を目指してもらい、どんどん研究や発表をしてもらいたいと思っています。その為にも日本放射線技術学会の事業を大いに利用させていただきたいと思っています。